



2026年4月24日

各位

会社名 テクノホライズン株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 拓伸
(STANDARD・コード 6629)
問合せ先 取締役 加藤 靖博
(電話番号 052-823-8551)

業績予想の修正及び営業外収益、特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026年1月23日に開示しました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の通期連結業績予想を修正するとともに、2026年3月期第4四半期において、下記のとおり営業外収益、特別利益を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2026年1月23日発表)	51,000	1,500	1,800	1,100	81.62
今回修正予想(B)	51,300	2,400	3,000	2,100	155.82
増減額(B-A)	300	900	1,200	1,000	
増減率(%)	0.6	60.0	66.7	90.9	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	50,624	373	369	△616	△45.72

(2) 業績予想修正の理由

映像&IT事業においては、GIGAスクール構想第2期の進展を背景に、国内事業の売上及び利益面ともに概ね想定通りに推移しました。海外事業では、当社の連結子会社であるPacific Tech Pte. Ltd. の業績が好調であり、売上及び利益面ともに想定以上に推移しました。また、ロボティクス事業においては、市況の回復基調を受け、受注獲得が当初想定を上回り堅調に推移しました。

以上の理由から、通期連結業績予想を修正いたします。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、また、会計監査人の監査手続き中であることから公表した予想数値にさらなる変動が生じる可能性があります。

2. 営業外収益の計上について

当第4四半期連結会計期間（2026年1月1日から2026年3月31日まで）において、為替相場の変動に伴い、為替差益211百万円を営業外収益に計上する見込みとなりました。これは、主に当社及び連結子会社が保有する外貨建資産及び負債の評価の影響によるものです。その結果、通期連結会計期間（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の為替差益は、463百万円となる見込みです。

3. 特別利益の計上について

当社は、2026年3月25日付「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、連結子会社である株式会社アド・サイエンスの全株式を譲渡いたしました。株式譲渡に伴う影響額の精査が完了し、2026年3月期連結決算において、子会社株式売却益495百万円を特別利益として計上する見込みとなりました。

以 上